

学科名	建築・デザイン学科						
科目名	基礎造形2						
科目区分	専門科目	単位数	4	開講時期	1年次後期		
必修・選択の別	選択必修科目（デザインコース） 選択科目（建築工学コース） 選択科目（建築コース）						
担当者	金子哲大						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・素材の特性を活かして形を発想できる。(D3) ・様々な制約ときちんと向き合い制作できる。(A6) ・アイデアをスケッチに描き最後まで制作できる。(A7) 						
日程と内容	<p>第1回：0917導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法、トレーニング課題1「新聞紙の構造体」</p> <p>第2回：0924トレーニング課題2「打倒山西」</p> <p>第3回：1001第1課題発表「食堂の私」・エスキス</p> <p>第4回：1007手エスキス</p> <p>第5回：1014頭部エスキス</p> <p>第6回：1021頭部エスキス</p> <p>第7回：1028第1課題中間発表（採点）</p> <p>第8回：1112エスキス</p> <p>第9回：1119エスキス</p> <p>第10回：1126第1課題プレゼンテーション（採点）</p> <p>第11回：1203 第2課題発表「Romantic Xmas Lights」・エスキス</p> <p>第12回：1210第2課題中間発表（採点）</p> <p>第13回：1217エスキス</p> <p>第14回：1224第2課題プレゼンテーション（採点）</p> <p>第15回：0114ポートフォリオ制作・提出</p>						
成績評価基準	定期試験			実技			
	臨時試験			部外評価			
	報告書・レポート			プレゼンテーション			
	課題	70%					
	演習	30%		計			100%
授業到達目標の達成度	最後まで演習を貫徹出来た学生に関してはほぼ達成出来たと感じている。						
反省点	等身大のモデルを作成時において、演習室が専用でないため授業毎に片付けなければならない。他演習に迷惑をかけたところがあると思う。						
来年度の計画	最終的な受講者が30名程度であった今年度は、学生とのコミュニケーションを最低限とれたが、ほぼ30名程度が上限と考えられる。来年度の受講生の人数が確定した段階で再度計画を練り直したい。						
授業評価アンケートに対するコメント	全体評価9.0という高評価は、選択科目であるが故、授業に不満を持っている学生がやめていくからであろう。今年度も1/4がリタイアしていった。ただ、最後まで残った学生のコメントで楽しかったという感想が多かったことは、それなりにものづくりの楽しさを伝えられたのではないかと思います。						
履修登録者数	40名	定期試験 受験者数	31名	合格者数	31名	合格率	100%